

平成 21 年 6 月 8 日現在

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2006～2008

課題番号：18320066

研究課題名 (和文) 徳之島方言辞典語彙編の作成のための研究

研究課題名 (英文) A Study for making Tokunosima dialect dictionary (lexical items)

研究代表者

澤木 幹栄 (SAWAKI MOTOEI)

信州大学・人文学部・教授

研究者番号 : 20110116

研究成果の概要：

徳之島方言(浅間)の語彙の意味について基本的な語については確実に知ることができた。また、動詞・形容詞の活用については例外的なものも含めてほぼ完全に調査した。

我々の研究の集大成として『徳之島方言二千文辞典 改訂版』を出版した。これは書籍に DVD をつけたものである。この DVD は「徳之島方言二千文」本体および、その KWIC 索引 (4 種)、文節索引 (4 種)、自立語による索引、動詞形容詞活用表、徳之島基本語彙集などを搭載し、これらからのリンクで音声、映像などに随時アクセスできるマルチメディア辞書である。文字だけにとどまらない徳之島方言の多面的な姿を知ることができる。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006 年度	2,500,000	750,000	3,250,000
2007 年度	2,100,000	630,000	2,730,000
2008 年度	1,800,000	540,000	2,340,000
年度			
年度			
総計	6,400,000	1,920,000	8,320,000

研究分野：言語学、辞書学、方言学

科研費の分科・細目：言語学・言語学

キーワード：奄美、琉球、方言、語彙、意味、動詞活用、音声情報、画像情報

## 1. 研究開始当初の背景

琉球方言圏の方言辞典としていくつかのものが刊行された。『沖縄語辞典』(昭和 38)『奄美方言分類辞典上・下』(昭和 55)『沖縄今帰仁方言辞典』(昭和 58)『沖縄伊江島方言辞典』(平成 11)などである。これらは記述の質量ともに本土方言で比肩するものがない。しかし、徳之島の方言を扱ったもので見るべきものはない。地域として近いのは『奄美方言分類辞典上・下』であるが、奄美大島のそ

れとはかなり大きな違いがある。その意味では徳之島は方言辞典の空白域と言える。

以上のように琉球方言には優れた方言辞典がいくつかあるが、徳之島方言の語彙面での記述はまだ十分でなく、また、動詞の活用に関しても追究すべき点が多く残っていた。

また、音声・映像の記録も不十分だった。

我々は 2003 年から 2005 年の 3 年間科学研究費「徳之島方言辞典作成のための研究」の助成を受けて研究の蓄積を行い、2003 年の国際学会 SIDG(International Society of

Dialectology and Geolinguistics)のラトビア、リガで行われた大会で発表し、研究成果報告書として『徳之島方言二千文辞典』を刊行した。

## 2. 研究の目的

語彙の意味に関して十分な記述のある方言辞典を作ることが目的だった。その辞典は現代の技術水準に見合ったマルチメディア的なものであるべきだと考えた。動詞の活用についても完全な記述を行うことが目的だった。

## 3. 研究の方法

インフォーマントで共同研究者の岡村隆博氏および本科研費の研究代表者、研究分担者の間の研究連絡および研究の諸作業はインターネットを介したメーリングリストやFTTPによるデータ交換を介して行った。集中的な調査の必要な項目については、研究者が徳之島に赴いてインフォーマントと対面調査を行った。この際、音声データの録音、画像データの記録を行った。

## 4. 研究成果

語彙の意味についてはかなり詳しく知ることができ、活用についてはほぼ完全にすべての活用形を網羅していると考えられる。

今回刊行した『徳之島方言二千文辞典 改訂版』は本文もさることながら、付録として持っているDVDに特色がある。

高度なマルチメディア性、検索性を備え、今後の研究に不可欠な土台となるものである。このようなマルチメディア辞書で本格的なものは国内ではほかにないし、国外でも見たことがない。

4種類のソート順によるKWIC索引と同じく4種類の語形対照索引があり、そこから本文の該当箇所へ飛ぶことができる。また、本文からは音声を聞くことができる。

語彙編では各項目から岡村氏が発音している動画を見ることもできる。

活用表には音声埋め込まれていて、クリックで音声を聞くことができる。さながら耳で聞く活用表である。

標準語訳の自立語リストにはどの文で使われているかを示す文番号がついていて、これが本文ファイルにリンクしている。

また、これらのデータの作成の記録がついているので、搭載されたプログラムを参考にして他の方言の研究も同様のデータを作成することが可能になった。

このDVDをPCに装着するとAutorunが働いて、ブラウザーが起動し、ホームページが開く。ここからリンクをたどれば、htmlで作られたページに飛ぶことができる。

DVDの構成は以下の通り

ホームページ

徳之島二千文について

このDVDの使い方

徳之島二千文本体

徳之島二千文PDF

徳之島二千文各種ファイル

徳之島基礎語彙

徳之島基礎語彙映像編

徳之島二千文各種ファイル

ソート順について

KWIC (徳之島方言順引き)

KWIC (徳之島方言逆引き)

KWIC (標準語順引き)

KWIC (標準語逆引き)

文節対応索引 (徳之島方言  
順引き)

文節対応索引 (徳之島方言  
逆引き)

文節対応索引 (標準語順引き)

文節対応索引 (標準語逆引き)

標準語自立語リスト

徳之島基礎語彙映像編

各項目へ

プログラム・データ (他からリンクは貼られていない)

PCの操作法に不案内な人でもウェブの閲覧をしたことのある人なら簡単に使用できる。

今後はこのDVDを活用することによって徳之島方言の研究をさらに進めることができるだろう。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 10 件)

① 沢木 幹栄 「琉球方言の否定を表す接辞の異形態について」人文科学論集<人間情報学科編>43 巻 pp77-85 2009 査読無

② 福嶋 秩子 「世界の言語地図作成・活用状況に見る言語地理学の現状と課題」日本語科学 23 巻 5-15pp 2008 査読付

③ Yumi Nakajima "An attempt at a Short History of the Macedonian Literary Language from the Point of View of the "Role of the Individual"" Mediterranean World XIX 245-262pp 2008 査読無

④ 沢木幹栄、福嶋秩子、中島由美 「私のフィールドノートから 徳之島方言」月刊言語 3 月号 pp. 78-83 2007 査読無

⑤ 中島 由美 (書評) 「江口泰生著『ロシア資料による日本語研究』」日本語の研究 第三巻 4 号 pp.49-55 2007 査読付

⑥ 福嶋 秩子 「ナマラの現在」ことばとくらし (新潟県ことばの会) 第19号 pp. 64-65 2007 査読無

⑦ Yumi Nakajima "Kako ja prenesuvame dushata na narodot" Nauchna konferencija 33 pp.49-56 2007 査読無

⑧ 福嶋 秩子 「方言コーパスを利用した動詞活用の分析 一徳之島方言二千文を用いて一」日本方言研究会第 85 回研究発表会発表原稿集 pp. 1-8 2007 査読無

⑨ 沢木 幹栄 「『方言文法地図資料』のデータベース化」月刊日本語学(明治書院) 26 巻 11 号 pp. 57-63 2007 査読無

⑩ Chitsuko Fukushima "Changing Dialects of the Young Generation in Niigata, Japan,

with the Focus on Adjective" Guido Oebel (Ed.), Japanische Beitrage zu Kultur und Sprache: Studia Iaponica Wolfgang Viereck emerito oblata. Lincom GmbH: Munich. pp. 125-139 2006 査読無

[学会発表] (計 4 件)

① Chitsuko Fukushima Progress in geolinguistics: What has been made possible using a computer? 12<sup>th</sup> International Congress on Methods in Dialectology, Leeds, England 2008 年 8 月 4 日

② 福嶋 秩子 「SEALを用いた言語地理学的研究について」東ユーラシア言語地理学に関する研究会 青山学院大学 2007 年 12 月 23 日

③ 福嶋 秩子 方言コーパスを利用した動詞活用の分析 一徳之島方言二千文を用いて一 日本方言研究会第 85 回研究発表会 琉球大学 2007 年 11 月 16 日

④ Motoei Sawaki, Yumi Nakajima, Chitsuko Fukushima Making Multimedia Dialect Dictionary as a Database with Indexes and Cross-references: International Society of Dialectology and Geolinguistics 5th International Congress, Braga Portugal 2006 年 9 月 6 日

[図書] (計 1 件)

① 岡村 隆博、澤木 幹栄、中島 由美、福嶋 秩子、菊池 聡 『徳之島方言二千文辞典 改訂版』(総ページ数 150) 徳之島方言の会 2009

#### 6. 研究組織

(1) 研究代表者

澤木 幹栄 (Sawaki Motoei)

信州大学・人文学部・教授

研究者番号: 20110116

(2) 研究分担者

福嶋 秩子 (Fukushima Chitsuko)

新潟県立女子短期大学・教授

研究者番号: 80189935

中島 由美 (Nakajima Yumi)  
一橋大学大学院・社会学研究科・教授  
研究者番号：20155732

菊池 聡 (Kikuchi Satoru)  
信州大学・人文学部・准教授  
研究者番号：30262679

(3)連携研究者  
該当なし